

2021年度

事業報告書

自 2021年4月 1日

至 2022年3月31日

1. 当法人の現況に関する事項

(1)事業の経過及びその実績の概要

清水港の2021年度(4～3月)のコンテナ貨物取扱数量(空コンテナを含むTEU換算)は、内外貿を合わせて前年比7.6%増の56万2967TEUでした。本年度も新型コロナウイルスの世界的流行は収まらず、国内外で経済が停滞し、コンテナ世界航路も様々な影響を受けましたが、貨物量は前年に比べれば回復いたしました。

21年度のコンテナ貨物取扱個数のうち外貿は6.5%増の45万3424TEU。輸出が8.0%増の23万2594TEU、輸入も5.0%増の22万0832TEUでした。内貿コンテナは12.1%増の10万9541TEUと大きく増加しました。内訳としては移出は2.3%増の4万6640TEU、移入は20.6%増の6万2901TEUとなりました。
*数値出典元は清水港管理局統計、RORO船取扱いのコンテナ個数を含む数値となっています。

当協会の2021年度の経常収益は、前年比80.8%(16,596千円減)の66,274千円となりました。主な減少要因は、施設整備補助金が前年の20,913千円に対して、本年は12,980千円となったことに加えて、昨年は全額が補修費として一時費用化し同額を収入として計上したことと比べて、本年は空調設備の差替え・取得として資産計上する内容だったため、本年中に減価償却する1,546千円だけが収入計上されたためです。

各事業の概要は次の通りです。

①収益の基盤である港湾福利分担金は、取扱量の若干の回復に伴い 前年比1063%(3,089千円増)の52,456千円となりました。

- ②・継続事業1のセンター運営等は、メインの会議室利用料収入が前年比2千円増加し157千円。
・継続事業3の体育文化事業では、テニスコート利用収入等が前年比98千円増加し1,089千円。
・継続事業4の小島港湾住宅賃貸事業では、前年比854千円減少し8,263千円となりました。
年度末時点での空き室は、3DKで12室中4室となっています。

③その他の日の出駐車場事業では、前年比63千円減少の2,136千円。前年は物損事故保険金111千円を 収入計上したため、実質増収となっています。年度末の利用状況は、収容台数33台のうち空は4台分です。

経常費用については、事業費が前年比83.4%(15,320千円減)の76,968千円となりました。費用が大きく減少した原因は上述の施設整備助成金の使途が資産取得になったため、修繕費は前年比22.6%(22,346千円減)の6,508千円でした。

増加科目は、減価償却費が前年比114.9%(1,747千円増)の13,491千円、委託費が前年比117.2%(1,890千円増)の12,865千円、光熱水料費は前年比116.5%(914千円増)の6,553千円、となりました。資産取得と、食堂運営の経費が膨らんだことが原因です。

支払い負担金は、協会従業員の人件費ですが9月より12月まで1名増となったため管理費と合わせると1,221千円増加しました。

体育文化事業は前々年同様コロナ禍の影響により低調でしたが、若干の回復が見られ前年比114.6%(682千円増)の5,356千円となりました。

以上から、経常収益合計の66,274千円から事業費と管理費を合わせた経常費用76,968千円を差し引いた当期経常増減は、△10,693千円(前年比113.5%、1,274千円減少)となりました。償却前利益は前年の2,626千円との対比で 115.3%、402千円増の3,029千円となりました。

当協会におきましては、引き続き港湾福利厚生施設の整備充実に積極的に取り組み、福利厚生事業の推進を図ってまいります。

事業別経常収益		本年額	前年額	増減
実施事業	(継1)センターの運営等	159	158	1
	(継2)養成・訓練の施設運営	0	0	0
	(継3)体育文化奨励事業	1,089	1,004	85
	(継4)小島港湾住宅	8,265	9,117	△ 852
	実施事業 計	9,513	10,279	△ 766
その他事業	日の出町駐車場の運営	2,136	2,311	△ 175
	事業収益 計	11,648	12,590	△ 942
法人会計(港湾福利分担金、利息等)		52,456	49,367	3,089

施設整備補助金	2,168	20,913	△ 18,745
経常収益合計	66,274	82,870	△ 16,596

(2)本年度と直近5事業年度の財産及び損益の状況

(単位:千円)

区 分	2021年度	2020年度	2019年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
経常収益	66,274	82,870	81,400	94,033	72,357	66,936
当期経常増減額	△ 11,534	△9,420	△14,873	△12,525	△14,476	△12,196
正味財産期末残高	478,126	478,920	489,085	504,767	518,224	531,492

注1) 2021年度経常収益の施設整備補助金には、当年度施設整備補助額12,980千円のうち当期減価償却分1,546千円と2020年度以前に資産整備のため正味財産に計上した施設整備補助金の一般正味財産への当年度振替額622千円(減価償却費分)を含む。

(3)施設利用状況

①清水港湾労働者福祉センター(袖師センター)

年度		2021年度	2020年度	前年度比較	2019年度	平成30年度
区分						
食堂	人数	29,423	28,488	935	30,093	29,183
売店	人数	1,008	1,180	△ 172	949	1,003
理容室	人数	707	821	△ 114	869	901
会議室	回数	48	44	4	65	94
	人数	754	701	53	1,084	1,593
人数合計		31,892	31,190	702	32,995	32,680
稼働日		287	288	△ 1	284	289
" (理容室)		253	277	△ 24	270	278

②清水港湾興津センター

年度		2021年度	2020年度	前年度比較	2019年度	平成30年度
区分						
食堂	人数	24,884	27,498	△ 2,614	30,854	32,251
売店	人数	3,475	4,235	△ 760	3,958	4,802
人数合計		28,359	31,733	△ 3,374	34,812	37,053
稼働日		285	288	△ 3	284	289

③小島港湾住宅

年度		2021年度	2020年度	前年度比較	2019年度	平成30年度
区分						
年平均 入居率 (%)	3DK 【12室】	71	86	△ 15	75	69
	2DK 【12室】	88	85	3	99	83
家賃収入(千円)		8,263	9,117	△ 854	9,013	7,965

④日の出町駐車場(最大収容台数:小型32台、軽1台)

年度		2021年度	2020年度	前年度比較	2019年度	平成30年度
区分						
年平均稼働率(%)		85	89	△ 4	80	32
賃貸収入(千円)		2,136	2,199	△ 63	1,959	706

⑤田子の浦港 富士埠頭休憩所

年度		2021年度	2020年度	前年度比較	2019年度	平成30年度
区分						
利用人数		1,202	1,131	71	1,153	1,515

⑥田子の浦港 中央埠頭休憩所

年度 区分	2021年度	2020年度	前年度比較	2019年度	平成30年度
利用人数	1,203	1,074	129	1,392	1,740

⑦田子の浦 トレーニングルーム

年度 区分	2021年度	2020年度	前年度比較	2019年度	平成30年度
利用人数	1,928	1,944	△ 16	1,912	1,920

⑧馬走テニスコート

年度 区分	2021年度	2020年度	前年度比較	2019年度	平成30年度
利用人数	5,152	4,594	558	3,675	3,359

⑨シーパレス・リゾート

年度 区分	2021年度	2020年度	前年度比較	2019年度	平成30年度
利用人数	1,584	1,324	260	3,379	3,006
助成金額(円)	4,153,500	3,472,500	681,000	8,947,500	7,876,500

⑩築地センター(訓練用揚貨装置)

年度 区分	2021年度	2020年度	前年度比較	2019年度	平成30年度
延利用人数	19	14	5	19	20
稼働日数	3	5	△ 2	7	6

(4)施設整備

2020年度実施の主な施設整備の状況は以下の通りです。

(単位:円)

施設名	工事及び整備の内容	金額	備考
清水港湾労働者 福祉センター	厨房機器交換他	857,296	修繕費
	トイレ補修他	193,600	〃
	布製庇一部撤去	4,400	〃
	理容室 給湯器交換	104,500	〃
	2階の照明LED化工事	2,222,000	〃
	小計	3,381,796	
清水港湾興津センター	厨房機器交換他	738,870	修繕費
	トイレ補修	28,600	〃
	誘導灯交換他	408,100	〃
	休憩室展示用具工事	191,400	〃
	小計	1,366,970	
田子の浦富士休憩所	中央埠頭 キーボックス	72,600	修繕費
馬走テニスコート	人工芝部分張替工事	75,900	修繕費
	夜間照明ランプ交換	59,400	〃
	小計	135,300	
小島港湾住宅	厨房機器交換等	311,343	修繕費
	原状回復工事他	1,573,770	〃
	小計	1,885,113	
協会事務局	浄水器カートリッジ交換	10,780	修繕費
合計		6,852,559	内自前額: 6,852,559

(5) 文化体育奨励行事

文化体育奨励行事は、新型コロナウイルスの感染が収まらない中で、本年も活動を縮小せざるを得ませんでした。恒例の5つの行事のうち4つは中止となり、実施した唯一の行事も規模を縮小して行われました。

シーパレス利用者も、コロナ禍に入っていた昨年よりは増加しましたが、コロナ禍以前の2分の1程度に留まりました。

2021年4月～ 2022年3月	シーパレス・リゾートを利用した会員事業者の従業員及び家族は宿泊料が半額、加えて当協会にて一人当たり3,000円(子供1,500円)の補助を行った (延利用者数:1,584人/前年比260人増)		
令和3年11月7日	清水港湾祭代替抽選会	1,016,880	抽選会会場参加人数 25名

(6)役員会等に関する事項

①清水港湾福利厚生協会・理事会

開催年月日	議事事項
令和3年4月19日	みなし決議 ①理事一名選定の件、 ②評議員一名選定の件、
令和3年5月19日	①2020年度事業報告書(案)及び収支決算書(案)の件 ②2020年度公益目的支出計画実施報告書(案)の件 ③第55回定時評議員会招集の件
令和3年6月25日	みなし決議 ①理事二名選定の件
令和3年8月10日	みなし決議 ①専務理事(業務執行理事)選定の件
令和3年11月19日	①2021年度上期事業報告について ②2022年度の日港福への施設整備助成希望事業について
2022年3月23日	みなし決議 ①2022年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件

②清水港湾福利厚生協会・評議員会

開催年月日	議事事項
令和3年5月6日	みなし決議 ①理事一名選定の件、 ②評議員一名選定の件、
令和3年6月1日	①2020年度事業報告書及び公益目的支出計画実施報告書の件 ②2020年度決算書(案)の件 ③2020年度公益目的支出計画実施報告書(案)の承認の件
令和3年7月20日	みなし決議 ①理事一名選定の件、 ②理事一名選定の件、

③日本港湾福利厚生協会主催会議

開催年月日	会議名	議事事項
令和3年6月9日	第59回定時総会	①2020年度事業報告並びに2020年度収支決算(案)及び公益目的支出計画実施報告書の件 ②2021年度事業計画及び2021年度収支予算の件 ③役員任期満了につき改選の件
令和4年3月9日	第3回理事会	①2021年度事業報告(案)の件 ②2022年度事業計画(案)及び2022年度収支予算(案)の件

	③会員入会の件 ③定款一部変更(案)の件 ⑤職員就業規程改正(案)の件
--	---

④日港福及び全国専務理事会等主催会議

開催年月日	会議名	議事事項
令和3年11月11日	全国専務理事会議 日港福主催	①シーパレスの現状と利用促進について ②当面の諸問題について ③2022年度施設整備事業助成について ④[特別講話] 国土交通省 港湾局 港湾経済課長 奈良 和美氏
令和4年2月22日	全国専務理事会役員会 全国専務理事会	①Web会議 役員顔合わせ
令和4年2月24日	全国専務理事会 全国専務理事会	①Web会議 顔合わせ

2. 役員等に関する事項

(1) 理事

役職名	氏名	常勤・非常勤	他の法人等の代表状況等
代表理事 (理事長)	西尾 忠久	非常勤	鈴与株式会社 代表取締役副社長
専務理事	岡田 良郎	常勤	
理事	佐々木 健	非常勤	清和海運株式会社 常務取締役総務部長
理事	杉山 行由	非常勤	田子の浦埠頭株式会社 取締役管理事業部長
理事	田形 淳	非常勤	株式会社天野回漕店 取締役総務部長
理事	松本 光弘	非常勤	鈴与株式会社 勤労部長
理事	小野辰一郎	非常勤	一般社団法人日本海事検定協会清水第二事業所 事業所長
理事	松尾 隆	非常勤	一般財団法人新日本検定協会清水事業所 所長
理事	田村 純	非常勤	一般社団法人全日検名古屋支部清水現業所 所長
理事	浦尻 勇利	非常勤	一般社団法人日本貨物検数協会清水事務所 所長
理事	遠矢 進一	非常勤	全日本港湾労働組合東海地方清水支部 書記長
理事	篠原みちる	非常勤	全日本港湾労働組合東海地方田子の浦支部 副委員長

(2) 監事

役職名	氏名	常勤・非常勤	他の法人等の代表状況等
監事	加瀬澤正義	非常勤	鈴与株式会社 取締役コンテナターミナル部長
監事	宮原 弘樹	非常勤	全日本港湾労働組合東海地方清水支部 副執行委員長

(3) 評議員

役職名	氏名	常勤・非常勤	他の法人等の代表状況等
評議員	鈴木 健一郎	非常勤	鈴与株式会社 代表取締役社長
評議員	柳川 明	非常勤	鈴与株式会社 常務取締役
評議員	小島 泰樹	非常勤	アオキトランス株式会社 代表取締役社長
評議員	小泉 明弘	非常勤	田子の浦埠頭株式会社 常務取締役
評議員	八木 敏明	非常勤	新興港運株式会社 常務取締役
評議員	松瀬 宇太郎	非常勤	清水埠頭株式会社 常務取締役
評議員	鈴木 勝也	非常勤	全日本港湾労働組合東海地方清水支部 執行委員長
評議員	千頭和達也	非常勤	全日本港湾労働組合東海地方田子の浦支部 執行委員長

(4) 退任した役員等

氏名	退任時の地位	退任日	退任事由
櫻井 勇	専務理事	令和3年7月20日	一身上の都合により辞任
若林 淳	理事	令和3年7月20日	一身上の都合により辞任

事業報告に関する附属明細書

◇港湾福利分担金実績について

港湾利用者と元請港運事業者より拠出される分担金トン当たり5円は、「3円を第1次分担金とし、地区協会に交付する。用途は運営費50%、施設整備50%とし、変更する場合は、日港福に報告し承認を得る。2円は第2次分担金として中央事業費とし、日港福に独自事業がない場合、1円50銭分を地区協会の施設整備に第2次交付金として交付する。」となっている。

港湾福利分担金交付額実績一覧表

各年度、1月から12月までの作業分が、3ヵ月遅れの4月から3月に交付される。

(単位:円)

年度	区分	1次分担金 (地方分担金)	2次分担金 (中央分担金)	合計金額	指 数
平成19年度		64,083,112	42,722,074	106,805,186	100
平成20年度		59,250,008	39,500,005	98,750,013	92
平成21年度		43,743,310	29,162,207	72,905,517	68
平成22年度		43,319,586	28,879,724	72,199,310	68
平成23年度		42,003,202	27,986,137	69,989,339	66
平成24年度		41,502,176	27,641,389	69,143,565	65
平成25年度		40,429,719	26,953,146	67,382,865	63
平成26年度		47,527,993	31,685,328	79,213,321	74
平成27年度		50,258,663	33,505,775	83,764,438	78
平成28年度		50,893,030	33,928,686	84,821,716	79
平成29年度		52,859,356	35,239,570	88,098,926	82
平成30年度		54,734,066	36,489,377	91,223,443	85
2019年度		52,666,872	35,111,248	87,778,120	82
2020年度		49,343,007	32,895,338	82,238,345	77
2021年度		52,451,634	34,967,756	87,419,390	82

注1: 平成20年9月15日に米国のリーマンブラザーズ経営破綻

注2: 平成22年4月作業分(7月入金)より平成26年5月作業分(8月入金)まで事業者拠出1円が凍結

注3: 平成24年度は福利厚生事業支援金5,240,000円が交付された(分担金には含まれない)

注4: 平成25年度にも福利厚生事業支援金10,520,000円が交付された(")

注5: 凍結されていた事業者拠出1円が、平成26年6月作業分より解除(同年9月より交付)